No.	1	2	3	4	5
通し番号	教材６	教材７	教材８	教材９	教材１０
団体名	北海道経済産業局	関東経済産業局	公益社団法人著作権情報センター	公益社団法人著作権情報センター	公益社団法人著作権情報センター
担当部署	知的財産室	産業技術革新課 知的財産室	業務部	業務部	業務部
電話番号	011-709-2311 （内線2586）	048-600-0239	03-5309-2421	03-5309-2421	03-5309-2421
教材名	発明・工夫と特許の国へようこそ！	高校生等に対するワークショップ	教員免許状更新講習	はじめての著作権講座－著作権って何？	はじめての著作権講座Ⅱ－こんなときあなたは？
媒体	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	その他	その他	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ
媒体URL	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_06.html		https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_08.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_09.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_10.html
形態	教材の提供	その他	その他	Q&A	Q&A
教材の公開・非公開	公開	非公開	非公開	公開	公開
教材利用に要する費用	無料	無料	有料	無料	無料
講師派遣の可否・経費	否	否			
教材・派遣等の費用目安	－	－			
指導案の有無	無	有	無	無	無
時間	15分以内	50分以内	その他(備考参照)	90分以内	90分以内
ページ数（冊子の場合）				35	51
フリーワード	発明家や歴史が学べる!世界の発明家の紹介、道具や特許の歴史、発明クイズ などのページがあります。	高専、普通科高校、工業高校に対し、地域の商工会、企業等と連携したワークショップを実施。	教員免許状更新講習。【選択】教員に必要な著作権の基礎知識を身につける	はじめての著作権講座－著作権って何？	はじめての著作権講座Ⅱ－こんなときあなたは？
備考			毎年8月上旬に開催。１０：００～17：40　受講料6,000円	上記サイトからダウンロードして使用	上記サイトからダウンロードして使用

知財創造教育の 三つの柱		知財創造教育における 学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる	○	○			
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる	○	○			
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる		○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる		○			
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる		○			
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる		○			
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○		○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる		○			

No.			6	7	8	9	10
通し番号			教材１１	教材１２	教材１３	教材１４	教材１５
団体名			公益社団法人著作権情報センター	公益社団法人著作権情報センター	公益社団法人著作権情報センター	公益社団法人著作権情報センター	公益社団法人著作権情報センター
担当部署			業務部	業務部	業務部	業務部	業務部
電話番号			03-5309-2421	03-5309-2421	03-5309-2421	03-5309-2421	03-5309-2421
教材名			学校教育と著作権	ＣＲＩＣ公益社団法人著作権情報センター	みんなのための著作権教室	５分でできる著作権教育	著作権教育の実践事例
媒体			ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ
媒体URL			https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_11.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_12.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_13.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_14.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_15.html
形態			Q&A	Q&A	Q&A	教材の提供	教材の提供
教材の公開・非公開			公開	公開	公開	公開	公開
教材利用に要する費用			無料	無料	無料	無料	無料
講師派遣の可否・経費							
教材・派遣等の費用目安							
指導案の有無			無	無	無	有	有
時間			90分以内	90分以内	50分以内	15分以内	その他(備考参照)
ページ数（冊子の場合）			46				
フリーワード			学校教育と著作権	ＣＲＩＣ公益社団法人著作権情報センター	みんなのための著作権教室	５分でできる著作権教育	著作権教育の実践事例
備考			上記サイトからダウンロードして使用	法令、条約、Ｑ＆Ａ、その他の著作権に関する情報を掲載	児童生徒が学びながら著作権について理解できる情報を掲載	所要時間は指導案によって異なる	所要時間は指導案によって異なる
知財創造教育の三つの柱		知財創造教育における学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる					
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる					
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる					
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○	○	○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる					

No.			11	12	13	14	15
通し番号			教材１６	教材１７	教材１８	教材１９	教材２０
団体名			公益社団法人著作権情報センター	公益社団法人著作権情報センター	日本文藝家協会	日本文藝家協会	一般社団法人日本音楽著作権協会
担当部署			業務部	業務部	著作権管理部	著作権管理部	広報部
電話番号			03-5309-2421	03-5309-2421	03-3265-9658	03-3265-9658	03-3481-2164
教材名			上戸彩の著作権早わかりPART2	未来から来た兄妹	著作権 Ｑ＆ＡⅠ	著作権Ｑ＆ＡⅡ	JASRAC PARK
媒体			DVD	DVD	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	インターネット
媒体URL			https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_16.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_17.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_18.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_19.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_20.html
形態			動画視聴	動画視聴	教材の提供	教材の提供	
教材の公開・非公開			公開	公開	公開	公開	公開
教材利用に要する費用			無料	無料	無料	無料	無料
講師派遣の可否・経費					可・有償	可・有償	否
教材・派遣等の費用目安					―	―	―
指導案の有無			無	無	無	無	無
時間			30分以内	30分以内	50分以内	50分以内	90分以内
ページ数（冊子の場合）					48	56	
フリーワード			上戸彩の著作権早わかりPART2	未来から来た兄妹	文芸作品の著作物使用についてのQ&A。著作権法もわかりやすく併記。	文藝作品の「引用」と「使用」についてのQ&Aとわかりやすい解説。	「ジャスラ」などのキャラクターが、著作権やJASRACの業務について紹介する若年層向けコンテンツ。学校行事別に著作権手続の必要の有無を解説するページや小中学生向けの新聞における広告記事の抜き刷りの掲載もあり。
備考							
知財創造教育の三つの柱		知財創造教育における学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる			○	○	○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる			○	○	
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる			○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる			○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる			○	○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○	○	○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる			○	○	○

No.	16	17	18	19	20
通し番号	教材２１	教材２２	教材２３	教材２４	教材２５
団体名	一般社団法人日本音楽著作権協会	一般社団法人日本音楽著作権協会	文化庁	文化庁	文化庁
担当部署	広報部	広報部	著作権課著作権普及係	著作権課著作権普及係	著作権課著作権普及係
電話番号	03-3481-2164	03-3481-2164	03-5253-4111	03-5253-4111	03-5253-4111
教材名	ジャスラと学ぶマンガde著作権	音楽コンテンツを楽しむ者の鉄則 （A4裏表印刷のチラシ）	著作権なるほど質問箱	著作権テキスト～初めて学ぶ人のために～	マンガでわかる著作物の利用「作太郎の奮闘記?市民文化祭を成功させよう?」
媒体	紙	紙	インターネット	インターネット	インターネット
媒体URL			https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_23.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_24.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_25.html
形態			Q&A	教材の提供	教材の提供
教材の公開・非公開	非公開	公開	公開	公開	公開
教材利用に要する費用	無料	無料	無料	無料	無料
講師派遣の可否・経費	否	否	否	否	否
教材・派遣等の費用目安	―	―	―	―	―
指導案の有無	無	無	有	有	有
時間	30分以内	15分以内	30分以内	50分以内	30分以内
ページ数（冊子の場合）	18	1		100	
フリーワード	「ジャスラ」などのキャラクターが登場する4コマ漫画と解説記事で構成。著作権の基本的知識、利用方法ごとの許諾要否等について解説する。	イラストを用いて音楽コンテンツのダウンロード、アプリの利用、ファイル共有ソフトの利用等について注意喚起する啓発用チラシ。	著作権に関するよくある質問と回答。利用場面ごとの検索などが可能。	著作権について基礎から体系的に学ぶためのテキスト。	主人公が仕事の中で著作権の問題にする物語をFlashの動画形式で学ぶことができる。マンガのPDFファイル、指導案、ワークシートも提供。
備考	希望部数によっては提供が難しい場合がある。	同じ内容がJASRAC PARK内で公開されている。チラシは、希望部数によっては提供が難しい場合がある。		紙媒体は原則として文化庁主催講習会、地方自治体と共催の著作権セミナーのみで配布	
知財創造教育の三つの柱 /	/ 知財創造教育における学習内容				
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋 / ・知財制度の基礎的知識を活用できる	○	○			
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋 / ・産業財産権の基礎的知識を活用できる					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋 / ・著作権法の要点を理解し，活用できる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋 / ・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋 / ・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋 / ・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる	○	○	○	○	○
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋 / ・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○	○	○	○
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋 / ・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる	○	○	○	○	○

No.			21	22	23	24	25
通し番号			教材２６	教材２７	教材２８	教材２９	教材３０
団体名			文化庁	文化庁	（独）工業所有権情報・研修館	日本弁理士会	日本弁理士会
担当部署			著作権課著作権普及係	著作権課著作権普及係	知財人材部	知的財産支援センター 第1事業部	知的財産支援センター 第1事業部
電話番号			03-5253-4111	03-5253-4111	03-5512-1202	03-3519-2709	03-3519-2709
教材名			著作権教育5分間の使い方	学校における教育活動と著作権	知的創造活動と知的財産～私たちの暮らしを支えるために～	電子紙芝居授業 「高橋是清の特許制度ことはじめ」	電子紙芝居授業 「是清さんに聞いてみよう」
媒体			インターネット	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	その他	その他
媒体URL			https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_26.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_27.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/red/redirect_k_28.html	-	-
形態			教材の提供	教材の提供	テキスト	動画視聴	動画視聴
教材の公開・非公開			公開	公開	公開	非公開	非公開
教材利用に要する費用			無料	無料	無料	無料	無料
講師派遣の可否・経費			否	否	否	可・有償	可・有償
教材・派遣等の費用目安			ー	ー	－	５万円／回	５万円／回
指導案の有無			有	有	無	無	無
時間			15分以内	15分以内	－	15分以内	5分以内
ページ数（冊子の場合）			16	8	20	－	－
フリーワード			教育活動における著作物の利用について、教科ごとに場面を設定して解説する指導事例集。 教員と学習者両方が使用可能。	教育現場における権利制限について学ぶためのパンフレット	私たちの生活を豊かにする知的財産　特許・実用新案　意匠　商標　著作権	特許局の初代局長であり、総理大臣にもなった高橋是清が、なぜ知的財産権の精度を整えたのかを知る。	特許局の初代局長であり、総理大臣にもなった高橋是清が、知的財産制度、弁理士の仕事などを教えてくれる。
備考			紙媒体は原則として文化庁主催講習会のみで配布	紙媒体は原則として文化庁主催講習会のみで配布			
知財創造教育の 三つの柱		知財創造教育における 学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる					○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる					○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる	○	○			
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる	○	○		○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる	○	○		○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる	○	○		○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○	○	○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる	○	○	○	○	○

No.			26		27	28	29	30
通し番号			教材３１		教材３２	教材３３	教材３４	教材３５
団体名			日本弁理士会		日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会
担当部署			知的財産支援センター 第１事業部		知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部
電話番号			03-3519-2709		03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709
教材名			電子紙芝居授業 タイトル1：「ヒット商品を支えた知的財産権 豊富な発泡へのこだわり～「きき湯の知的財産権」～」 タイトル2：「ヒット商品を支えた知的財産権 世界が認めた町工場の職人芸～プルトップ缶の知的財産権～」	タイトル3：「ヒット商品を支えた知的財産権 世界を変える最新技術～「天然ガス採掘」を支える油井管（ゆせいかん）の知的財産権～」 タイトル4「電子紙芝居授業 ヒット商品を支えた知的財産権 ICカードでキーレス＆キャッシュレス～コインロッカー「ＡｉＴ」の知的財産権～」	電子紙芝居授業 ヒット商品を支えた知的財産権 「自分のライフスタイルを発見できる店」を目指して ～ホームセンターの商標権～	電子紙芝居 「弁理士　田島小五郎」	電子紙芝居 「弁理士　田島小五郎（ショート版）特許取得編」	電子紙芝居 「弁理士　田島小五郎（ショート版）特許侵害編」
媒体			その他		その他	その他	その他	その他
媒体URL			-		-	-	-	-
形態			教材の提供		教材の提供	教材の提供	教材の提供	教材の提供
教材の公開・非公開			非公開		非公開	非公開	非公開	非公開
教材利用に要する費用			有料		有料	有料	有料	有料
講師派遣の可否・経費			可・有償		可・有償	可・有償	可・有償	可・有償
教材・派遣等の費用目安			５万円／回		５万円／回	５万円／回	５万円／回	５万円／回
指導案の有無			無		無	無	無	無
時間			30分以内		30分以内	50分以内	15分以内	15分以内
ページ数（冊子の場合）			1		－	-	-	-
フリーワード			タイトル1：「ヒット商品を支えた知的財産権 豊富な発泡へのこだわり～「きき湯の知的財産権」～」 ⇒きき湯、ヒット商品 タイトル2：「ヒット商品を支えた知的財産権 世界が認めた町工場の職人芸～プルトップ缶の知的財産権～」 ⇒プルトップ缶、町工場、ヒット商品	タイトル3：「ヒット商品を支えた知的財産権 世界を変える最新技術～「天然ガス採掘」を支える油井管（ゆせいかん）の知的財産権～」 ⇒天然ガス、油井管、ヒット商品 タイトル4「電子紙芝居授業 ヒット商品を支えた知的財産権 ICカードでキーレス＆キャッシュレス～コインロッカー「ＡｉＴ」の知的財産権～」 ⇒コインロッカー、ＡｉＴ、ヒット商品	商標の選択、商標登録出願、ブランド	新商品を開発した依頼人からの相談を通じて、発明の創作から特許権の取得及び特許権の侵害まで学習する。	新商品を開発した依頼人からの相談を通じて、知的財産の概要及び特許取得までの手続きを学習する。	新商品を真似された依頼人からの相談を通じて、特許権の侵害について裁判前後の流れを学習する。
備考								
知財創造教育の 三つの柱		知財創造教育における 学習内容						
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる	○		○	○	○	○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる	○		○	○	○	○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる						
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる	○		○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる	○		○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる	○		○	○	○	○
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○		○	○	○	○
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる	○		○	○	○	○

No.			31	32	33	34	35
通し番号			教材３６	教材３７	教材３８	教材３９	教材４０
団体名			日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会
担当部署			知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部
電話番号			03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709
教材名			電子紙芝居 「とんかつバーガーの商標登録出願」	電子紙芝居 「私の詞がまねされた！第一章」	電子紙芝居 「私の詞がまねされた！第二章」	電子紙芝居 「私の詞がまねされた！第三章」	電子紙芝居授業 タイトル1：「商標って何？第一章」 タイトル2：「商標って何？第二章」
媒体			その他	その他	その他	その他	その他
媒体URL			-	-	-	-	-
形態			教材の提供	教材の提供	教材の提供	教材の提供	教材の提供
教材の公開・非公開			非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
教材利用に要する費用			有料	有料	有料	有料	有料
講師派遣の可否・経費			可・有償	可・有償	可・有償	可・有償	可・有償
教材・派遣等の費用目安			５万円／回	５万円／回	５万円／回	５万円／回	５万円／回
指導案の有無			無	無	無	無	無
時間			50分以内	15分以内	5分以内	5分以内	15分以内
ページ数（冊子の場合）			-				－
フリーワード			バーガー店の新商品を題材として、商標の登録要件、商標権の効力、地域団体商標について学習する。	学生が書いた詩を題材に、他人がインターネットで勝手に詞を公開した場合の著作権の問題について学習する。	身近な事例を挙げてどのようなものが著作権になるのか、また、誰でも著作権者になっていることを学習する。	映画の作製には様々な人が関与していること、及び映画の著作権にはどのようなものがあるのか学習する。	タイトル1：「商標って何？第一章」 ⇒ブランド、マーク、偽物 問題提起 タイトル2：「商標って何？第二章」 ⇒ブランド、マーク、商標登録
備考							
知財創造教育の 三つの柱		知財創造教育における 学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる	○				○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる	○				○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる		○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる	○	○	○	○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○	○	○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる	○	○	○	○	○

No.	36	37	38	39	40
通し番号	教材４１	教材４２	教材４３	教材４４	教材４５
団体名	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会
担当部署	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部
電話番号	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709
教材名	電子紙芝居授業 「商標って何？第三章」	江戸小町の登録商標	弁理士　加賀美鏡一郎　意匠編	電子紙芝居授業 「おにぎりパックの特許出願と特許侵害」	電子紙芝居授業 「特許エンターテイメントセミナー初級」
媒体	その他	その他	その他	その他	その他
媒体URL	-	-	-	-	-
形態	教材の提供	体験型	体験型	体験型	体験型
教材の公開・非公開	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
教材利用に要する費用	有料	応相談	応相談	有料	有料
講師派遣の可否・経費	可・有償	可・有償	可・有償	可・有償	可・有償
教材・派遣等の費用目安	５万円／回	５万円／回	５万円／回	５万円／回	５万円／回
指導案の有無	無	無	無	無	無
時間	5分以内	90分以内	50分以内	90分以内	90分以内
ページ数（冊子の場合）	−			-	-
フリーワード	弁理士、模倣防止、警告、裁判 問題解決	電子紙芝居を用いた寸劇形式で商標権や商標権侵害について学ぶ。	電子紙芝居を用いたドラマ形式（音声無し）で意匠権や意匠権侵害について学ぶ。	特許を取得するための手続や要件を説明する。特許紛争事件を題材に、特許権侵害の判断手法、特許取得により得られる利益等を説明し、特許制度への理解を深める。	身近な実例を紹介して、知的財産って何？どんな発明が特許になるの？特許ってどうやってとるの？といった事項を、クイズ等を交えながら学ぶ。
備考		弁理士以外の登場人物の音声が付いているバージョンと、全て音声無しのバージョンの２つの形式あり。	生徒にセリフを読ませる場合、４人以上推奨。		

知財創造教育の 三つの柱		知財創造教育における 学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる	○		○	○	
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる	○		○	○	
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる					
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる	○	○	○	○	○
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○	○	○	○
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる	○	○	○	○	○

No.			41	42	43	44	45
通し番号			教材４６	教材４７	教材４８	教材４９	教材５０
団体名			日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会
担当部署			知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第1事業部	知的財産支援センター 第1事業部	知的財産支援センター 第1事業部
電話番号			03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709
教材名			電子紙芝居授業 「発明トレーニング」	電子紙芝居授業 「特許権の取得から特許権侵害を巡る攻防まで」	発明工作授業 「ペーパータワー」	発明工作授業 「片手でもてるかな」	発明工作授業 「はっぴょんをわたらせよう」
媒体			その他	その他	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ
媒体URL			-	-	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_48.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_49.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_50.html
形態			体験型	体験型	体験型	体験型	体験型
教材の公開・非公開			非公開	非公開	公開	公開	公開
教材利用に要する費用			有料	有料	無料	無料	無料
講師派遣の可否・経費			可・有償	可・有償	可・有償	可・有償	可・有償
教材・派遣等の費用目安			５万円／回	５万円／回	５万円／回	５万円／回	５万円／回
指導案の有無			無	無	有	有	有
時間			90分以内	90分以内	50分以内	50分以内	50分以内
ページ数（冊子の場合）			-	-	－	－	－
フリーワード			前半は、身近な発明品の実例を紹介し、発明をするうえで大事な考え方（発明の把握、発明の本質とは）などについて理解する。後半は、グループに分かれて、発明を考える演習を行う。	具体的な事例に関する２企業間の争いを、特許権の取得から特許権の行使・交渉に至るまで、寸劇風に解説する。途中で学生の意見を聞く場面が数回あり、理解を確認する。	おもりの重量に耐えることのできる紙のタワー（発明品）を作り、その高さを競う。	紙コップと紙皿を片手で持てるようにした発明品（工作物）を作製する。	所定間隔（約１ｍ）を隔てた２つの机の間に紙の橋（発明品）を作り、その強さを競う。
備考							
知財創造教育の 三つの柱		知財創造教育における 学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる		○		○	○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる		○		○	○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる					
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる	○	○	○		○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる	○	○	○		○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる	○	○	○		○
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○	○		○
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる	○	○	○		○

No.	46	47	48	49	50
通し番号	教材５２	教材５３	教材５４	教材５５	教材５６
団体名	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会	日本弁理士会
担当部署	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部
電話番号	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709	03-3519-2709
教材名	フリー教材 先生のための知財のひきだし	「知的財産ってなんだろう」	「意匠ってなんだろう」	タイトル1：「商標ってなんだろう編」 タイトル2：「商標の機能と商標登録編」	「どうずれば特許を取れるの？」
媒体	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ
媒体URL	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_52.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_53.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_54.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_55.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_56.html
形態	その他	動画視聴	動画視聴	動画視聴	動画視聴
教材の公開・非公開	公開	公開	公開	公開	公開
教材利用に要する費用	無料	無料	無料	無料	無料
講師派遣の可否・経費	否	否	否	否	否
教材・派遣等の費用目安	否	否	否	否	否
指導案の有無	有	有	有	有	有
時間	5分以内	15分以内	15分以内	15分以内	30分以内
ページ数（冊子の場合）	－	－	－	－	－
フリーワード	様々な教科に対応した、授業の導入として使える知的財産権エピソード（知財ネタ）を提供する。	タイトル1：「知的財産ってなんだろう」⇒知的財産全般について自転車を例に学習する。 タイトル2：「意匠ってなんだろう」⇒意匠制度の概要とデザインを保護する仕組みを学習する。	意匠制度の概要とデザインを保護する仕組みを学習する。	タイトル1：「商標ってなんだろう編」⇒身近にあるマークを例に商標とは何かを学習する。 タイトル2：「商標の機能と商標登録編」⇒商標の役割と商標登録について学ぶ。	私たちが生活の中で思いついたアイデアを権利化する「特許出願」について学習する。
備考	2018年7月時点で23テーマ。随時補充。				

知財創造教育の 三つの柱		知財創造教育における 学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる	○	○		○	○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる	○	○	○	○	○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる		○			
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる	○	○	○	○	○
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○	○	○	○
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる	○	○	○	○	○

No.			51	52	53	54	55
通し番号			教材５７	教材５８	教材５９	教材６０	教材６１
団体名			日本弁理士会	日本弁理士会	日本行政書士会連合会	日本行政書士会連合会	日本行政書士会連合会
担当部署			知的財産支援センター 第１事業部	知的財産支援センター 第１事業部	国際・企業経営業務部	国際・企業経営業務部	国際・企業経営業務部
電話番号			03-3519-2709	03-3519-2709	03-6435-7330	03-6435-7330	03-6435-7330
教材名			知的財産ドラマ 「～社長、初めての特許～」	商品開発と知的財産権	ネットリテラシーを考える	知的財産権	高校生が知っておきたい著作権について
媒体			ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	その他	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ
媒体URL			https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_57.html	-	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/red/redirect_k_59.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/red/redirect_k_60.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/red/redirect_k_61.html
形態			動画視聴	教材の提供	教材の提供	教材の提供	教材の提供
教材の公開・非公開			公開	非公開	公開	公開	公開
教材利用に要する費用			無料	有料	無料	無料	無料
講師派遣の可否・経費			否	可・有償	可・応相談	可・応相談	可・応相談
教材・派遣等の費用目安			否	５万円／回			
指導案の有無			有	無	無	無	無
時間			30分以内	30分以内	50分以内	50分以内	50分以内
ページ数（冊子の場合）			－	1	49	8	56
フリーワード			特許権の活用例をドラマタッチで分かりやすく学習する。	グループワークでの商品開発を通じて、知的財産権の種類や重要性を理解する。	著作権の概要（法律の目的や制度等）を学ぶ。 またＳＮＳ投稿等の日常に潜む違法性を考える。	産業財産権の概要と権利取得について、法律の目的や制度等を学ぶ。 また著作権侵害について考える。	著作権の概要（法律の目的や制度等）を学ぶ。 著作物の利用方法や日常に潜む違法性を考える。
備考							
知財創造教育の 三つの柱		知財創造教育における 学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる	○	○			
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる	○	○			
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる		○			
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる	○	○	○	○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○	○	○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる	○	○	○	○	○

No.			56	57	58	59	60
通し番号			教材６２	教材６３	教材６８	教材６９	教材７０
団体名			キヤノン株式会社	CUBIS Project	キヤノン株式会社	キヤノン株式会社	仙台高等専門学校
担当部署			知的財産法務本部	CUBIS事業部	知的財産法務本部	総合デザインセンター	企画室
電話番号			―	082-535-5272	―	―	022-391-5506
教材名			知財入門	知財教育用ボードゲーム「ＣＵＢＩＳ」	知財入門	デザインプロセス体験演習	知的財産管理技能検定3級　公式テキスト
媒体			その他	その他	その他	その他	紙
媒体URL			https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/red/redirect_k_62.html		https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/red/redirect_k_68.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/red/redirect_k_69.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/ext/ext-link_k_70.html
形態			教材の提供	体験型	教材の提供	教材の提供	テキスト
教材の公開・非公開			公開	非公開	公開	公開	公開
教材利用に要する費用			無料	有料	無料	無料	有料
講師派遣の可否・経費			可・無償	可・応相談	可・無償	可・無償	否
教材・派遣等の費用目安							-
指導案の有無			無	有	無	無	無
時間			90分以内	50分以内	90分以内	90分以内	その他(備考参照)
ページ数（冊子の場合）						32	200ページ前後
フリーワード			知的財産の基礎から、グループワークを通じて特許について考える。	事業活動の中で、どのように知的財産権が使われるかを、ゲームを通して体感的に学ぶ	知的財産の基礎から、グループワークを通じて特許について考える。	デザインの基礎を学び、グループワークを通じて実際にデザインが生み出されるプロセスを体験する。	市販の教材
備考			本教材は、小中学生向けとして公開中のものと同一です。	https://www.cubis-project.com/	本教材は、小中学生向けとして公開中のものと同一です。		学内の高専生１～5年生向けにプロジェクトとして10名を募集し，2018年度に約半年間　1週1回実施した。
知財創造教育の三つの柱		知財創造教育における学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる	○	○	○		○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる	○	○	○		○
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる					○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる	○	○	○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる	○		○	○	○
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる	○	○	○	○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる	○	○	○	○	○
（３－１）新しいものを創造しようとする態度を育成する （３－２）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる	○	○	○	○	○

No.	61	62	63		
通し番号	教材７４	教材７５	教材７６		
団体名	都城工業高等専門学校	特許庁	特許庁		
担当部署	総務課企画係	企画調査課	企画調査課		
電話番号	0986-47-1305	03-3592-2911	03-3592-2911		
教材名	産業財産権入門	アイデア活用のヒント 手引書(学生等向け版)	アイデア活用のヒント 手引書（学校向け版）		
媒体	その他	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ		
媒体URL		https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/red/redirect_k_75.html	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyouiku/program/red/redirect_k_76.html		
形態	体験型	教材の提供	教材の提供		
教材の公開・非公開	非公開	公開	公開		
教材利用に要する費用	応相談	無料	無料		
講師派遣の可否・経費	可・応相談	否	否		
教材・派遣等の費用目安	－	－	－		
指導案の有無	有	無	無		
時間	50分以内	50分以内	50分以内		
ページ数（冊子の場合）	－	2	2		
フリーワード	知財利用に関する基礎知識習得のためのスライド各種。またJ-PlatPatを用いた知財ライブラリの活用など	学生等がアイデアを社会で活用する時の、課題や解決のヒントをまとめた手引書。 アイデア商品化における知財の役割を学ぶことができる。	自分達のアイデアを活用しようとする学生等をサポートする際のヒントや知財のポイントをまとめた、先生用の手引書。		
備考					

知財創造教育の 三つの柱		知財創造教育における 学習内容					
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財制度の基礎的知識を活用できる	○				
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・産業財産権の基礎的知識を活用できる	○				
（1）知的財産のきまりを知る	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・著作権法の要点を理解し，活用できる	○				
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財の知識をもとに多用なアイデアを適切に評価できる					
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・発想したアイデアを論理的かつ明確に表現ができる		○	○		
（2）新しい創造をするための思考力、判断力、表現力等を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・意欲を持って社会と関わった創造的な活動ができる		○	○		
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・知財を尊重・保護する高い倫理観を持ち，他者にも説明ができる					
（3－1）新しいものを創造しようとする態度を育成する （3－2）創造されたものを尊重する態度を育成する	【日本知財学会】「知財教育の体系化の例」から抜粋	・創造的な活動の中で知財を尊重・保護すると共に，適切な判断・処理ができる					